

「社会が求めるグローバル人材とは？」

日時: 5時間目(1:05-1:45) on 12/10/2016 at 音楽室
対象者: 補習校高等部生全員

内容: 実際の社会で働いている人から、どういう人がグローバルに活躍できる人なのか、
どういう能力が必要か講演してもらいます。

企画意図: グローバル化が叫ばれる中、現地校、補習校で学ぶ皆さんは、正直、とても有利
です。この折角の機会をどう活用し、何をすべきか、皆さん自身が考える機会とします。

宿題

「グローバル化とは何か」「グローバルに活躍できる人材とはどういう人か」「そうなる為にあなた自身の今の課題は何か」「日々どういう行動をするべきか」皆さん自身の考えをまとめておいて下さい。当日は、米国風に双方向Discussionで進行しますので、活発な発言が求められます。

講師紹介

森山 雅之; Komatsu America Corp. 社長(兼)最高執行責任者(兼)北米開発本部長

会社概要: 建設/鉱山機械、
林業機械、産業機械などの
開発、製造販売。
売上 1兆8,749億円



神奈川県立多摩高等学校
慶應義塾大学工学部機械工学科
Cornell University, Graduate School, Mechanical Engineering (MS)

趣味: ゴルフ、ジム (健康オタクです)

大学進学に向けて考えた事、努力した事

具体的な目標は必ずしも明確ではなかったと記憶しています。ただ、漠然と社会の基盤を作る仕事をしたいと思い、工学部を選択しました。何か特定のものに努力したということはありませんが、勉強も部活(テニス)も「しっかりやった」と自分では思っています。

アメリカで働いて感じたこと

アメリカでは多くの方が物事を前向きに捉え(positive thinking)、すばやく仕事を進めていく。その姿勢が素晴らしいと思います。ですから、仕事は楽しいし、やりがいもあります。

補習校高等部生へのメッセージ

日米両方の言語・文化を吸収できるという恵まれた環境にあることを自覚し、その上で広い視野・様々なことに興味を持って、勉強・スポーツなどの活動に**愚直**に取り組んでもらいたいと思います。